

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第7回「『医師の2つの使命』～『人格医学』～」

コロナショックで、川のほとりを 静かに散策する 時間が増えた (写真)。大学の授業のあり方も 大きく変わって来ている。私は、順天堂大学名誉教授/医学部・保健医療学部 客員教授として、今週 Zoom 授業を 依頼された。最初は、ビデオ収録、課題レポート提出 を考えていたが、「学生から 樋野先生の顔を 観て、声を聴き、質問も出来る授業をして 欲しいと意見が多数寄せられている」との 知らせを大学から頂いた。驚きである。内容は、『病理学概論』と『がん医療科学』とのことである。2クラス 各 120名の学生のような。『医師の2つの使命』(ポール・トゥルニエ)について、語る予定である。まさに『新渡戸稲造記念センター』の理念でもあろう！

- ① 「学問的、科学的な責任」で病気を 直接 診断・治療する → 学者的な面
- ② 「人間的な責任」で、手をさしのべる → 『人格医学』

